

事業所名

ひよこ園事業

支援プログラム

作成日

7年

1月

15日

事業所理念	幼児からの自立に向けての療育 ・生き生きと生活できる環境づくり ・家庭との連携		
支援方針	・子どもさんのセルフエスティームを育みます。具体的には3つの心(安心の心、自信の心、自由の心)を育てていきます。 ・保護者の皆さんと同じ立場で考えあい学びあうことを連携の基本と位置付けています。		
営業時間	9時00分から	15時00分まで	送迎実施の有無 ○あり なし
支 援 内 容			
本人支援	基本的考え方	子どもさんの特性理解を優先します。子どもさんの強みを活かして苦手さを補う療育支援を行います。	
	コミュニケーション	コミュニケーション支援が療育支援の中心になります。表現性コミュニケーション、受容性コミュニケーションを育みます。子どもさん自身が置かれている状況が分かりやすい環境の中、言語にかかわらず使用しやすいコミュニケーション手段(カード等)の獲得を優先し、安心感を育み成功経験を増やします。	
	運動・感覚	子どもさんの運動機能が向上する運動遊びを取り入れていきます。また感覚に過敏や鈍麻など特性のある子どもさんに対して環境を整えることで安心できる状況を作ります。	
	認知・行動	子どもさんの視覚的な情報処理の強みを活かして情報を正しくわかりやすく伝えます。またどのような事をどのくらい、どんな順番でするのか、終わった後何があるのかを視覚的構造化により知らせ、自分の置かれている状況を理解し、さらには意欲的に周囲に関係性を持つよう促します。	
	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを最優先します。基本的考え方にも記載したとおり、特性や発達状況に配慮し心身の異変に気付けるようきめ細やかな観察を行います。睡眠、食事、排せつ等の基本的な生活習慣を形成し健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けることができるよう支援します。	
	人間関係 社会性	状況が分かりやすい環境の中で自分がすべきことや期待されていることを理解し、物事を達成することで満足感や成就感を育みます。また困難な状況に陥ったり、失敗したりした時に大人等に助けを求めるスキルを身に付け、現状を打開出来たり気持ちを切り替えられたりすることができるよう支援します。集団での遊び場面においては遊びのルールをわかりやすく伝えるためモデルを示したり、視覚化したりして説明します。状況が分かることで友達と適切な関係が持てるよう支援し、社会性の発達を促します。	
家族との連携	勉強会やクラス懇談会を実施し、ご家族に特性やかかわり方に関する情報を提供します。また日々の連絡ノートや個別懇談等でご家族との連携を図ります。	移行支援	移行支援のベースとなるセルフエスティームを育みます。また子どもさんの状況に応じてソーシャルスキルトレーニングを実施します。併行利用している子どもさんは保育所等との連携を行います。
地域支援・地域連携	卒園前に保護者と一緒にサポートブックを作成します。それをもとに卒園児に就学先の学校や放デイとの引継を行います。保健センターや子ども家庭センター等の関係機関と連携を図っていきます。	職員の質の向上	施設内研修や外部研修会への参加を行っています。また児童発達支援管理責任者によるOJTを実施しています。
主な行事等	クラス懇談会、全体懇談会(保護者勉強会)、入園式、運動会、遠足、クリスマス会、卒園式、誕生会(月1回)、個別懇談(月1回)、療育参加		